

たかやま共創ミーティング（第5弾）

テーマ：人材確保～若者が働きたいまちづくり～

《第1部》 グループワーク

高山市の「仕事」のイメージ

- ・高山市で働くイメージがない、働きたいとは思う
- ・どのような仕事があるかわからない
- ・都会に比べて職種や仕事の選択肢が少ない
- ・給料が少ない、都会と比べて低い（どうしても都会と比較してしまう）
- ・学んだことが活かせる職がない
- ・IT、芸術、デザイン、文化系の職業が少ない
- ・クリエイティブな人材が少ない
- ・観光業（飲食、運送、宿泊等）の職業が主であるイメージ⇔農業、製造業（木工）、教育、医療、福祉、建築など実際は幅広く仕事がある
- ・実はものづくりの企業も多い
- ・観光、運送、農業、土木（友人がついている仕事）
- ・観光に依存→ワーケーション等で外部の人を活用できる
- ・どのような仕事があるかわからない
- ・起業している若い人には会うが会社員には会わない
- ・高山で働いている人のロールモデルがない
- ・スマホで高山の就職について検索しても情報がない、若者はネットにないものは調べられない
- ・高山の会社の就職の情報をネットで比較検討できない
- ・就活の情報がまとまっているHPはありますか？
- ・高山の会社はSNS、ネットに弱い

自分が働くとしたら

- ・いろいろなことにチャレンジできる
- ・働きがい（能力を出し切れる）
- ・やりがいを感じる
- ・趣味は妥協しない
- ・子育てしやすい（福利厚生充実）
- ・休みがしっかりとれる
- ・給料が高いといい
- ・家を建てられるくらいの給料

高山市の良いところ（強み）

- ・人が温かい、やさしい
- ・住民が親切

- ・地域コミュニティ、近所とのつながり
- ・人とのつながりがあり、人に喜んでもらえる
- ・人の顔が見える社会
- ・親と暮らせる
- ・ゆっくりとした時間
- ・都会へ行くのが楽しみ
- ・歴史を感じる街並み
- ・豊かな自然と歴史的な町並みが両方あり、観光に結び付いている
- ・伝統文化
- ・都会と比べて静か、安全、混みあっていない
- ・夏場は涼しい気候
- ・自然豊か、空気・水がおいしい
- ・風景がきれい
- ・温泉がある
- ・星がよく見える
- ・道の走りやすさ
- ・農業が盛ん、農業するのに向いている、個人の畑や田も多い
- ・農作物や食べ物がおいしい、野菜が安い
- ・ゴキブリ、蚊がいない
- ・土地や家賃、物価が安い
- ・I ターンの人には魅力的

高山市の悪いところ (弱み)

- ・固定概念強め
- ・閉鎖的、息が詰まる、狭い社会
- ・噂話好きな感じがきらい
- ・観光にシフトしすぎ
- ・教育機会の少なさ、学校が少なく選べない、大学が少ない
- ・夏が涼しくなくなった
- ・海が遠い
- ・交通の利便性が悪い (都市部からのアクセス、市内の公共交通機関)
- ・終バス、終電が早い
- ・車がないと行動できない、車社会
- ・都市から遠い、東京へのアクセスが悪い、色々遠い
- ・若者の遊ぶ場所が少ない
- ・夜遊ぶ場所がない
- ・休日に遊べる施設が少ない (映画館、ダーツ、ビリヤード、カラオケ…)
- ・文化面の不足 (美術館、音楽…)

- ・若い人には刺激が少ない、外を見たい
- ・若い人が少なくてつまらない、同年代がいない
- ・仲の良い友達が帰ってきていない
- ・30歳すぎくらいからの若い人は多いがそれより下は少ない

《第2部》 意見交換

グループワーク後の感想

- ・高山は観光のイメージがとても強い。観光以外のことをイメージできるような仕組みが必要。
- ・観光業に偏っているイメージあったが、グループワークでさまざまな職業があることがわかったものの、それを知る機会が限られている。
- ・自分も周りも進学したらほとんど高山に戻らないつもりだが、グループワークでいろいろ知ることができた。
- ・高山の就活情報を得る機会がない。探せばあるのかもしれないが、探し方がわからず見過ごしてしまう。見つける方法として情報がまとまったホームページがあるといい。
- ・情報が見つからなかったらほかに行こうとなる。就職地域にこだわらない人をどう取り込むか。弱みがあるからこそ引き込める人もいるのかなと思う。
- ・個人的に交通の便がネック。ただ、人のあたたかさがとても好きで、将来的には高山に帰りたい。
- ・20代くらいの若いうちに高山に帰ってくるメリットは何なのか、大人に聞きたい。
- ・就職情報の見つけにくさについて、高山で就職したいと思って情報を探したとき、個別の会社ピンポイントの情報は見つかるが、高山市全体を見られるものがない。どんな仕事があるのか、見つける取っかかりもない。企業説明会やバスツアーがあることは調べて知っていたが、そこに行かなくてもネットで見つけられる情報がほしい。若い人は見つけやすい方に行くし、情報を得る入り口が大きいといいなと思う。
- ・大学から勧められる就職大手サイトがあるが、高山の企業はほぼ載っていない。高山市内の企業に就活アプリなどへの掲載してもらおうとよいのでは。

何があれば高山に帰ってこようと思うか

- ・親しい友達がいれば。長子だからという使命感で漠然と帰ってくるものと思っている。都会の満員電車での通勤も好きではない。お金、親、友達が大事。
- ・友達が帰ってくるから自分もというのではないが、家族からは帰ってきてほしいという思いと「このまま外行くんやろな」という思い両方感じる。絶対こうだから帰るということはなく、小さいころから帰ってくる方がいいこと、地域のためにもなるという刷り込みがある。それが自分のためにいいことかはわからない。
- ・高山は環境的に過ごしやすいのがいい。祖母の介護の様子を見ていると、いずれ親の介護が必要になるし帰りたいと思う。
- ・高山だからできること、住みたいという特別な理由がない。観光に来る人にとって素晴らしいものでも、住んでいる人にはそうではない。

- ・帰る、帰らないどちらも決定的な理由はない。就活で縁があれば帰るし、同じようにほかの地域に縁があればそっちに行く。
- ・高校の時は、大学を卒業したら帰ると決めていた。それは選択肢がなかったからだと思う。今は進学して選択肢も増え、思いも少し変わってきている。
- ・都会に出ているいろんな人に会い、高山の人はあたたかくていいな、自分を応援して寄り添ってくれる人が多いと実感している。

どんな仕事がしたいか、どんな場所で働きたいか

- ・大学院で資格取得後、その資格を活かし高山で就職するつもり。
- ・安定していて、遠い場所を転々とせず、ある程度同じ場所で働きたい。職種は特に問わない。
- ・交通の利便性が良く、便利で、お店・人・家賃などいろいろな面で生活しやすいところ。
- ・公務員になりたいが、好きなものがあるのでどんな形でも仕事でかかわりたい。
- ・昔から就きたい仕事は決めており、そのための大学に通っているが、宿泊などおもてなしで人に関わる職業にも興味がある。
- ・安定。趣味に力を入れたいのでお金が欲しい。名の知れた企業ならいい、大手に行きたいという先入観もある。
- ・自分の性格的にベンチャーがいいと思うが、特にこれがやりたいということはない。

高山が働きたいまちになるには

- ・業種、収入、休日など比較したり、条件で絞り込んでいけるような情報がほしい。
- ・自分が文系なので、製造業であっても文理どちらでも応募できるのかなどわかるといい。
- ・就職について、業種や地域などはっきり決めていなかったりイメージがなかったりする時に、入口となる間口の大きい情報がネット上にあるといい。
- ・情報が全部あっても膨大で見るのが大変なので、初めに入るページは簡単で、そこから詳しい情報が得られるページに入っていけるといい。
- ・滋賀県では「しがジョブパーク」「tama-go」「滋賀インターンフェス」といった、就職について全然決まっていない人に、ローカルの就活情報をまとめて届けたり、少しの条件で県内企業にマッチングしたりするサイトがある。現地での説明会やツアーより、そういうものがあればネットで情報を得られる。
- ・交通について、支所方面に夜12時ごろに1本だけバス走らせてもらえれば…。夜市街地に飲みに行けるので遊びの幅が広がる。
- ・高山と東京の2拠点生活が夢。東京が遠すぎるので、新幹線が高山に通ってほしい。高速バスの料金も学生には高い。副業、リモートワークで若いうちは都会と高山両方に拠点をもちたい。